

平成25年2月18日

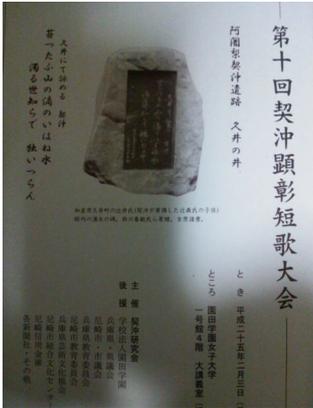
小田北だより



尼崎市立小田北中学校 学校通信その2

契沖短歌大会：尼崎市長賞受賞作品

“正解か まちがいなのか わからない それでも私は まっすぐ生きる”



年度も終わりに近づき、1月末～2月中旬にかけて市内各所で教科等での展示会が行われました。どの会場も市内19中学校の作品が展示されていて、各学校の先生方が見守りつつ家族で訪れる姿が目立ちました。本校でも、下記の人たちの作品を代表として出展しました。美術や技術家庭は時間数が少ないですが、新しいものを創ることは大切です。これらの大会・展示会は毎年行われています。代表になったり、賞を頂くことが目標ではありませんが、今後も頑張っって欲しいと思います。()は学年、敬称略

＜第10回契沖短歌大会＞尼崎で生まれた江戸時代の僧・国学者の契沖文化を守ろうと企画されている由緒ある大会

市長賞：田城(2) 契沖賞：下門・土田(1) 戸枝・出水(3)
山の井賞：加藤・山田裕・森田(1)・谷口・三木(3)

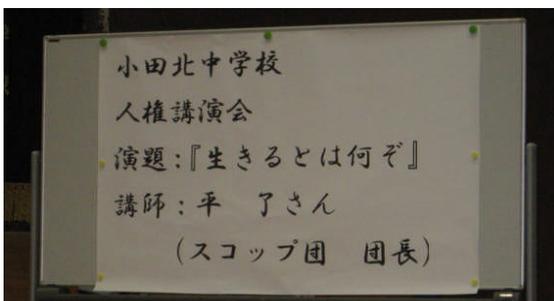
＜書写展＞河合・駒崎・原田・坂本(1) 檜谷・坂戸・大林・
神山・英(2) 石田・山口・大川(3)

＜美術展＞和田・田中・赤澤・田畑・小助川・山之内・小幡・池田・
平松・小平・田城・樋口・英(2)

＜技術家庭科展：優秀賞＞森野・中村・中島・橋本・足立・後藤・
水野・石田・兼田・徳永・内垣・泉田・谷口・古堅・筒井・大川・
宮井・水野(3)小野・長岡・片寄・勝岡・金田(2)



◇生きるとはなんぞ：人権講演会 ◇



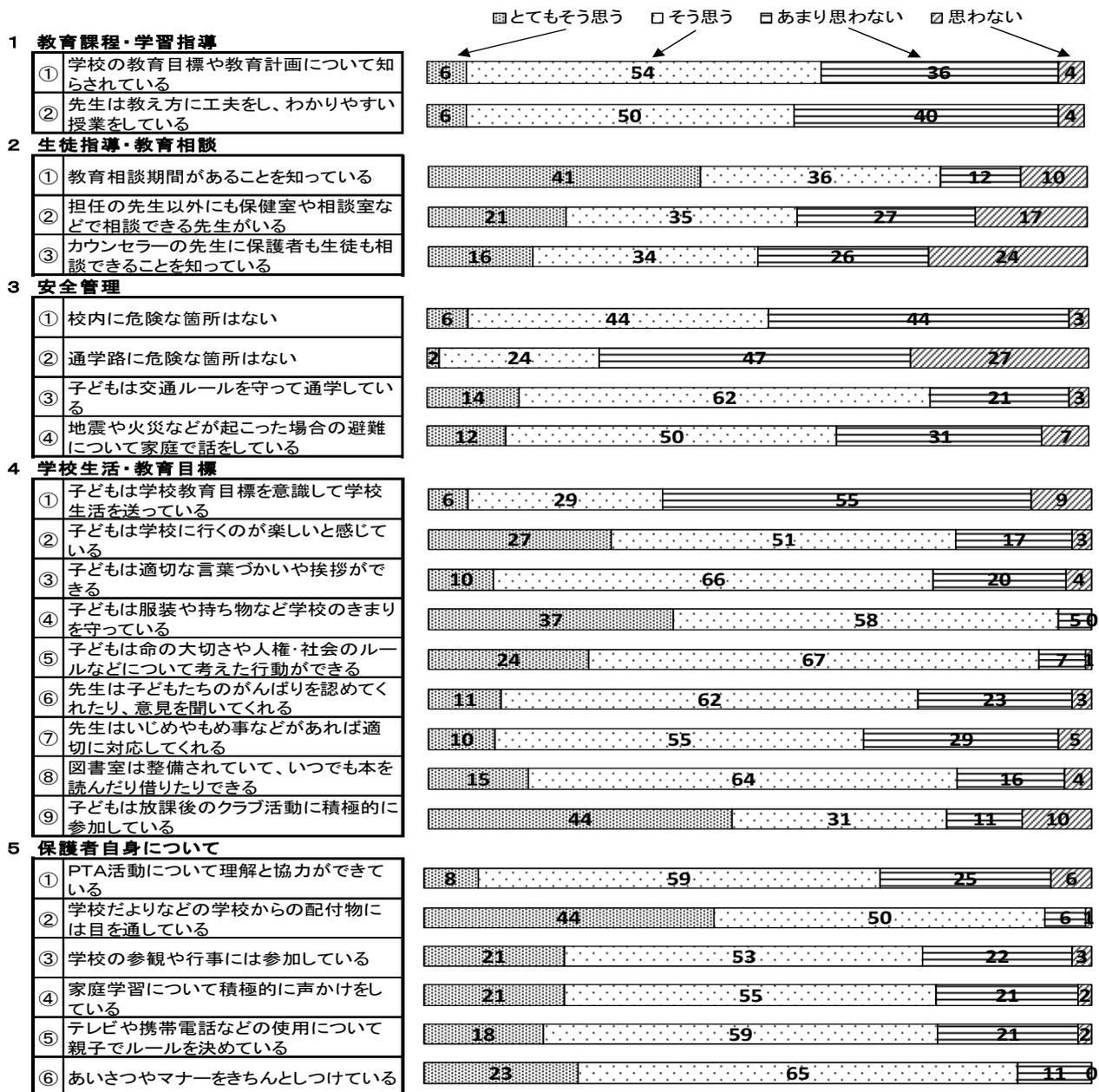
15日(金)東日本大震災後、ボランティアとして活動しているスコップ団の平了(たいら りょう)団長を仙台からお迎えしました。確かに、“声が小さくて聞き取りにくかった…”などの感想もありましたが、震災での“死”に直面したリアルな体験から「今日、死んでしまおうとしたら…」一生懸命に生きるはず。そう思って生きていくこと、「真剣に生きること」の大切さなどを伝えたかったです。

■耐震工事始まる 来年2月まで全校舎、体育館と順次施工します

2/4より校内には耐震工事のため業者が入っています。未だ、本格的に始まっていません。みなさんの安全には万全を期しますが、校舎・体育館周囲は足場が組まれ、立ち入り禁止でガードフェンスが設置されたり、使用禁止の場所も出てきたりと、来年2月まで不便な状況が生じることもあります。3年生は完成を見ずに卒業してしまいましたが、来年の卒業式は新装なった体育館！？で…

《学校評価アンケートの結果をお知らせします》

2学期の12月に保護者の方を対象に実施いたしましたアンケートを集計した結果をお知らせいたします。本校の教育活動の改善にこの資料を活かしてまいります。アンケートにご協力いただきありがとうございます。（グラフ内の数値は%です）



その他、ご意見・ご希望等の自由記述欄では、部活動と教員関連のご意見を頂きました。

部活動について1番多くの意見を頂いたのは、もう少しクラブ数が増やせないかというご意見です。

クラブ数については、転勤等の関係で顧問が出来る教員の異動があると共に、家庭等の事情でどうしても顧問が出来ない状況があるなどにより、このような現状となっております。来年度以降は、少しでも改善出来るように努めて参りたいと思っております。しかし、教員の異動は、市教委が行うものでクラブ顧問でなく教科担当で異動するのも現実です。従って、クラブ担当顧問等が希望通りいかないのも現実です。又、クラブ顧問の指導に対する要望については、1学期に行われる各クラブの保護者会等で指導方針について共通理解を図っていただくとともに、顧問と保護者のみなさんが子どものために一体となってクラブを盛り上げて頂けるように。忌憚のない意見交換を行っていただきたいと思います。

教員関連のご意見については、いろいろな面で教員に対する叱咤激励をいただきました。

指導方法や厳しいご指摘など、耳の痛い内容もありましたが、保護者の方々のご意見を真摯に受け止め、子どもたちが安全で楽しく、10年先、20年先に通用する力を身につけると共に、教員には働きがいがあり、地域・保護者に信頼していただけるよう努力していきますので、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

します。

(文責：学校長)